

外来語の日本語への言い換え

近年、全般的な国際化の進展とともに、官民間わず外来語を活用する場面が多く見受けられます。しかしながら、それらの外来語の中には、なじみの薄いものや分かりにくいものも多く、公共性の高い役所などでは安易に外来語を使用すべきでないとの意見も多く聞かれます。

国立国語研究所では、これまで、分かりにくい外来語を分かりやすくするための工夫として、外来語の言い換えを提案（平 18.3）してきました。

次に掲げる外来語について、同研究所が提案している言い換えとしてどれが正しいのか、各自でチェックしてみましょう（⇒ 正解は、裏面を参照してください）。

1 アジェンダ

ア 代理人 イ 備忘録 ウ 議事日程 エ 検討課題

2 ノーマライゼーション

ア 平準化 イ 標準化 ウ 等生化 エ 無差別化

3 コンソーシアム

ア 演奏台 イ 競技場 ウ 配偶者 エ 共同事業体

4 モラトリアム

ア 猶予 イ 倫理破壊 ウ 無責任 エ 絶体絶命

5 ソリューション

ア 孤立 イ 問題解決 ウ 単独飛行 エ 半導体

6 オンデマンド

ア 個別対応 イ 委託販売 ウ 注文対応 エ 信用取引

7 コンテンツ

ア 情報内容 イ 競技者 ウ 目録 エ 満足度

8 インキュベーション

ア 注入 イ 吸引 ウ 起業支援 エ 資本増資

9 ユニバーサルサービス

ア 世界共通仕様 イ 宇宙開発事業 ウ 全国一律サービス エ 世界貢献

10 トレーサビリティ

ア 復元可能性 イ 完遂可能性 ウ 刷新度 エ 履歴管理

外来語の日本語への言い換え（解答）

国立国語研究所が提案する言い換えは以下のとおりです。

- 1 **アジェンダ (agenda) → エ 検討課題**
公式に取り組むべき検討課題のこと。さらに、行動計画等を言う場合もある。
- 2 **ノーマライゼーション (normalization) → ウ 等生化**（等しく生きる社会の実現）
障害のある人などが、一般社会で等しく普通に生活できるようにすること。
- 3 **コンソーシアム (consortium) → エ 共同事業体**
ある目的のために形成された、複数の企業や団体の集まり。
- 4 **モラトリアム (moratorium) → ア 猶予**
猶予を与えること。元々は、債務などの支払い猶予を意味したが、青年が社会人となるべき時期を先延ばしすること等も意味するようになった。
- 5 **ソリューション (solution) → イ 問題解決**
顧客の抱える問題に解決策を提案し、問題解決を支援すること。
- 6 **オンデマンド (on demand) → ウ 注文対応**
主にネット上で、注文に応じて速やかに必要なサービスを提供すること。
- 7 **コンテンツ (contents) → ア 情報内容**
電子媒体を通してやりとりされる情報の内容・中身（音楽・音声・映像等）のこと。
- 8 **インキュベーション (incubation) → ウ 起業支援**
元来は、産んだ卵のふ化のこと。転じて、新規事業を起こすことを支援すること。
- 9 **ユニバーサルサービス (universal service) → ウ 全国一律サービス**
全国どこにいても一律に受けられるサービスのこと。
- 10 **トレーサビリティ (traceability) → エ 履歴管理**
主に食品について、生産流通の履歴を管理し追跡できる仕組みのこと。

以上、外来語の言い換えについてみてきましたが、これらはほんの一例といえます。皆さんが外来語を使う場合には、普段から、外来語を日本語に言い換える等の工夫が必要ですが、仮に、そのまま使わざるを得ない場合であっても、文脈に合わせ用語の意味をしっかりと説明するなど、聞く人の立場に立った適切な配慮が必要だといえます。